

第291号
発行
特別養護老人ホーム光寿苑
まんさく編集委員会
和賀郡西和賀町湯本30-76-1
TEL 0197-84-2526
koujhu@fancy.ocn.ne.jp
題字 元理事長 太田 祖 電



高橋吉夫さん、町長より100歳お祝い [令和5年8月1日]

100歳になられた吉夫さん。長生きの秘訣は「好き嫌がなく何でも食べること」ですって♪

291号もくじ

☆2～3頁★

- *調理目標
*介護「こまち通り」目標

☆6頁★

- *ひなたぼっこ紹介
*運営推進会議録

☆8頁★

- *「光寿苑の日々」(4コマ漫画)

☆4頁★

- *想…災害を捉える(前半)
*「職員募集」のお知らせ

☆7頁★

- *家族会と一緒に盆踊りの会
(今年度は家族の皆様をお呼びして開催しました♪)

☆5頁★

- *想…災害を捉える(後半)
*面会・外出・寄贈・等紹介

- *「自然法爾」(おきさんのお話)

- *「おわりに」

光寿苑の日々 291号



イラスト：1000

コロナ以前は、600人超が集う野内屋敷のお祭りだった光寿苑盆踊り。懐かしいくらいに思う祭りは1週間もかけて設営して1晩で終わるという、ある種の芸術でもある。元通りにはまだ遠いけど、少しずつ戻って帰って参りたい所存です。

経済至上主義が精神粗しように症を発症させた！

第90回 丸田善明 自然法爾(じねんほうに)

骨粗しように症のことは知っていても、粗しように症とは、「大雑把で粗いこと」である。骨のカルシウムが少なくなると、強度が低下して脆くなる。...

増しているのではないかと心配だ。精神粗しように症とは「経済至上ウイルス」に感染して発症する。このウイルスに感染し重症化すると、人間の持つ「悲しみ」の感情が破壊され、患者から精神の瑞々しさや奪われ、弱者を攻撃するという危険な特徴を示す。...

外国人労働者として、ミャンマーから2名の女性が今月から来ている。どちらも20代前半で、とてもビュッな笑顔と空気を抱いている2人である。日本人がいつか...

家族と過ごす
光寿苑盆踊りの会
【8月7日】

お年寄りのご家族、そして職員とで過ごした夕暮れのひと時。直前に雨が降るなど天候が危ぶまれましたが、本番開始18時にはすっかりよいお天気に♪外に出られないお年寄りたちのために、屋内の盆太鼓も叩いて頂き、涙ぐんで感動している姿もありました。



盆踊り大会、開会しまあす♪



家族の皆様、おかげさまでした♪来年こそは、地域に戻って参りたい！そう願っております♪

相手を活かし、自分を活かす意識で出発します♪

【生活】「③栄養士・調理部門」 ☆高橋奈々子☆

法人キーワード	令和4年度共通のキーワードは『続・知る』					
テーマ	季節感を感じて頂けるような食事を提供する。					
令和4年度下半期のイメージ像	理想像	<table border="1"> <tr> <th>目標①</th> <th>目標②</th> </tr> <tr> <td>お年寄りの声を聴きながら、食事から季節を感じて頂けるようにしたい。</td> <td>美味しく、安心・安全な食事づくりをする。</td> </tr> </table>	目標①	目標②	お年寄りの声を聴きながら、食事から季節を感じて頂けるようにしたい。	美味しく、安心・安全な食事づくりをする。
	目標①	目標②				
お年寄りの声を聴きながら、食事から季節を感じて頂けるようにしたい。	美味しく、安心・安全な食事づくりをする。					
具体的な取組み (いつ、何を、どのように)	<p>①「1日1回」お年寄りの傍に行き、笑顔で声掛けをする。 ⇒お年寄りの声を厨房に持ち帰る。</p> <p>②外に出る事が難しい状況の中で、苑の中でも少しでも季節を感じて頂けるような献立や食材を取り入れる。</p> <p>③看取り期のお年寄りに、食べたい物を少しでも食べて頂けるよう皆で協力する。</p>					



法人キーワード	令和5年度共通のキーワードは『活かす』					
テーマ	明日の活力になる様な美味しい食事を作る。					
令和5年度上半期のイメージ像	理想像	<table border="1"> <tr> <th>目標①</th> <th>目標②</th> </tr> <tr> <td>★旬の食材を使用した新しいメニューを1品でも多く取り入れる。</td> <td>★美味しく、安心・安全な食事づくりをする。</td> </tr> </table>	目標①	目標②	★旬の食材を使用した新しいメニューを1品でも多く取り入れる。	★美味しく、安心・安全な食事づくりをする。
	目標①	目標②				
★旬の食材を使用した新しいメニューを1品でも多く取り入れる。	★美味しく、安心・安全な食事づくりをする。					
具体的な取組み (いつ、何を、どのように)	<p>①旬の時期のおいしい食材を使用した新しいメニューを献立に取り入れる。</p> <p>②旬の食材や新しいメニューを献立に活かせる様に調理内で意見交換をする。</p> <p>③看取り期のお年寄りに、食べたい物を少しでも食べて頂けるよう皆で協力する。</p>					

令和5年度の法人キーワードは『活かす』です！

【生活】「⑦介護部門…こまち通り」 ☆加藤千恵子☆

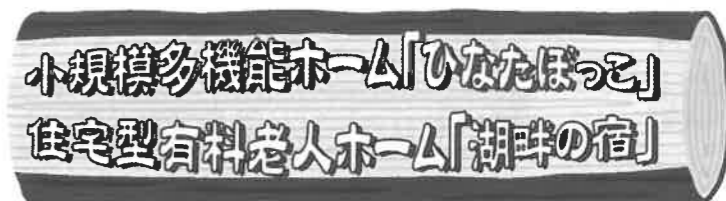
法人キーワード	令和4年度共通のキーワードは『続・知る』	
テーマ	みんなを知る	
理想像	目標 ①	目標 ②
	1日1回、離床して皆で過ごす。	今日が最期の日になっても後悔しない介護
具体的な取り組み (いつ、何を、どのように)	①1日1回、離床する。 ⇒ベッドから離れる事で、シーツのしわを伸ばす事ができる。 ⇒しわのないベッド上で褥瘡になりにくくなり、身体の苦痛の軽減に繋がる。 ⇒皆と過ごす事で笑顔になり、職員も含めてお互いを知る事ができる。	①言葉を交わす時間を大切にする。 ②コロナ禍での家族との関わりを考え、取り組んでいく。 ⇒写真のプリントアウト ⇒DVDの作成 ⇒家族への連絡 ⇒オンライン面会等 ③気になるお年寄りについては、ユニット内でケアカンファレンスを開き、見直し・共有していく。



法人キーワード	令和5年度共通のキーワードは『活かす』	
テーマ	知っている知識を活かす	
理想像	目標 ①	目標 ②
	★お年寄りの残存機能を活かす。	★今まで知り得た情報を介護に活かす。
具体的な取り組み (いつ、何を、どのように)	①1日1回離床する ⇒ベッドから離れる事で気分転換をはかる。併せて、シーツのしわを伸ばし、快適な環境づくりができる。	①言葉を交わす時間 ⇒コミュニケーションを大切にする。
	②介護技術の向上 ⇒個々の残存機能を活かし、できる事をしていく。 ③個別ケア ⇒個別ケアを確認し、その人に合った介助方法など、個別にしっかり介助できるようにする。	②ご家族との関わりを考えた定期的な連絡 ⇒お年寄りの状態を伝える。 ⇒衣類の交換等の連絡をする。 ③その時のお年寄りの表情を記録する ⇒良い表情を写真に撮っていく。

今月の登録者の方々

13名様です♪



アフターコロナの過ごし方(〜♪) 「ひなたぼっこの日常」



左・中 お茶会「室内夏祭り」にて大ハッスル♪

右 ひなたぼっこの畑から野菜の収穫中♪

第2回『運営推進会議』(7月19日)

外部委員10名、職員4名

【利用状況の説明後】

①(登録者)登録者18名にに対し13名の登録者)利用者やあまり増えないですね。

②現在、新規利用者増に向けて色々当たっているのですが、中々登録に繋がるところまで結ぶつかない状況です。

③アフターコロナの行事のあり方はいかがでしょうか。

④7月は夕涼み会の月であります。今現在も所内でコロナが落ち着かない情報が入っています。今年度につきましては、地域公開としての夕涼み会は見送らせて下さい。

ただし、通所されている利用者さんたちに対しては、屋外での余事を提供しながら金踊りを行う等考えております。昼時間の開催予定ではありませんが、少しでも祭りの雰囲気味わって頂けるよう計画しております。

⑤ひなたぼっこの利用料金について説明願います。

⑥小規模多機能型は、要支援1から要介護5までの7段階の方々が登録、利用できるサービスです。利用にあたっては、1ヶ月の包括料金を利用できます。月計算のため、高いのでは？というご質問もありませんが、パックの考え方で、「いつでも使えますよ」と必要であれば泊りも可能というメリットがあります。泊る場所も普段利用している同じ場所がありますし、いつもの通いサービス、職員の対応です。安心です。宿泊は泊り千円です。

⑦利用者によって月に1回の利用という方もいれば、数多くの回数利用される方もいます。差があるわけですが、介護度が同じであれば利用料金も同じということですね。

⑧基本、そういう原理となっています。ただ、月1回利用という方はありません。ご希望で週1回の方はあります。

⑨当サービスは、訪問対応もあり、通いも好きな方の自宅に伺って、衣の掃除をする等で見守ることもできます。

⑩様々な対応が可能なサービスの様ですので、委員の皆さんも地域でお話し頂ければと思います。

想 〇〇〇 災害を捉える ~岩手から発信します~

『震災の記憶④…そして学び』八重樫 敏氏



事実、我々の組合でも毎年災害対応訓練を行っていたのですが、「電気は止まる」と「通信は止まる」という条件は想定になく、したがって災害時にはそれまでの訓練がほぼ役に立たず、手探りで対応するはめになりました。

間違った前提からは、これまた間違った答えが出てしまいます。(この基本の考えをしっかりと持ち、おくことが必要です。)

よって、全部が止まる(可能性もある)という前提で備蓄や備えをしましょう。数日分の食料や水は、あった方が良いです。

この場合、栄養のバランスはそれほど考えなくても仕方ありません。特に、ストレノ解消用は甘い物は必須となります。

また、要らなくなったペットボトルには、「流す用の水」を貯めておいた方が良いでしょう。経年劣化した方が良いことも知った経験となりました。(水は多用途が必要となることをしっかりと認識しましょう。)

さらには、例えば震災時には、

北上市の水道屋さん、八重樫敏氏に連載で筆をとって頂いております。今回は、震災の経験から得た「今後に活かせること」について丁寧に触れていただきました。2頁に渡る読み応えある第4回目の寄稿、全文をご紹介したいと存じます。ぜひ、ご一読下さい。

震災の記憶④…そして学び

その後、沿岸被災地では、仮設住宅をはじめ様々な復旧工事や本格化し、弊社も社内の施行能力のおよそ3分の1程度をローテーションしながら仮設工事に割いてきました。仮設だらうが本設だらうが工事に変わりはないのですが、宿泊施設が確保できず、毎日北上から通うことになったのが大変なことのひとつでした。

また、仮設系の工事が一段落すると、本復旧系の工事もスタートし、それが数年続くことになりました。工事の度に沿岸を周るのですが、何もかもが焼き払われてしまったような被災地が、少しずつ人々の住む景色に変わっていくのを見るのができました。

一方、時間を見て国道を号線宮城県から福島県いわき市まで走ってみると、未だにあり時から時計が止まったままの地域があり(令和5年の現在でも)、既に復興を遂げつつある地域との落差の大きさに驚愕します。いずれ時が解決する、時の流れしが解決するこ

とできない、そういう事だとは思いますが、様々な問題提起を投げかけてくる光景がしばらく続くことでしょう。

以上、震災が起きたあの日からの出来事をあまり整理しないまま書き連ねてまいりました。

ここからは、その経験を踏まえて今後に活かせるような内容を書き連ねてみたいと思います。

① 電気は止まりません。

水道も止まりません。

とある自然災害の専門家や、山は崩れるもの、川は溢れるもの、と仰っておりました。そもそもそういうものなのだということですが、ついでに、電気も水道も止まりません。通信も物流も止まりました。いずれ、災害時には全てのものが止まる(可能性はある)ということになります。

これこそが一番の前提です。この前提を間違えると、それに対する備えや対応も全てが明後日の方向に向けてしまいますので、注意が必要

石油ストーブ(電源不要の反射式の物)が火災役に立ちました。暖をとることはもちろん、お湯を沸かしたり簡単な調理もできます。オイル電化が推進されていた中で、重要な学びの一つでした。

可能なら発電機や蓄電池などもあれば良いです。

全てに対して万全の備えをすることは難しいしあまり現実的ではありませんが、数日持ちこたえられるか、または移動できる手段を持つ必要があるでしょう。

(続)

八重樫 敏氏

株式会社ヤエガシ代表取締役社長

昭和21年7月に陶器店として商いをスタート。そのおよそ6年後昭和27年4月に今の業種である水周りの工事関連としての浴槽造りであるタイル工事をスタートし、今年70年目を迎える老舗の代表。志しを語る。

『変わらない大切なもののために変わる勇気と行動力を持つ』

【ホームページより抜粋】

職員募集中

【特に急募しております↓↓↓】

看護師と調理員

- ① 町外の方等であれば、住まいも併せてケアさせていただきます(^_^)
- ② 期間限定でも構いません。お力下さる方、お待ちしております。
- ③ 上記の他、介護職、相談員職などもお気軽にお尋ね下さい。

まずはお電話を！0197-84-2526



モンゴルから来ているエンフールさん、介護技能実習評価試験専門級に見事合格♪

面会・外出 [7月1日~31日]

- 【対面面会】
- ★ 延べ37名 (対象入居者16名)
- 【外出】
- ★ 3名 (自宅等外出)



光寿会へのサポート

寄贈

- ★ 高橋 修 様 [下ノ沢]
- ★ 匿名 様 [秋田県]
- ☆ 高橋 ちづ子 様 [下 前]
- ☆ 薄井 敬子 様 [上野々]
- ☆ 高橋 康文 様 [新 町]
- ☆ 照井 勉 様 [北上市]
- ☆ 高田 由喜 様 [福島県]
- ☆ 山口 要子 様 [奈良県]

★=光寿苑 ☆=ひなたぼっこ

おかげさまでした